

千葉県栄養改善学会_優秀発表の評価基準（ルーブリック票）

千葉県栄養士会 学術部

評価項目・内容	〈 評価項目別 評価の目安〉				
	最高（よくできている）	やや優秀	まずまず（平均的）	やや劣る	最低（良くない）
形式	(1) 抄録の形式は、概ね【目的】【方法】【結果】【考察及び結語】に分けて作成されているか（抄録の形式は、演題募集の「抄録作成上の注意事項」並びに「抄録見本」に沿って見やすく書かれているか。）				
	● きちんと形式通りであり、非常に見やすく記載されている。	● 形式通りであり、見やすく記載されている。	● 概ね、形式通り、記載されている。	● 一部、形式とは違っており、見づらい記載となっている。	● かなり、形式が異なっている。
演題（タイトル）	(2) 演題は、発表内容が分かるように、適切に端的に記載されているか				
	● 演題だけを見て、発表内容が予測できるくらいに、適切かつ端的に、分かりやすく表現されている。	● 演題だけを見て、発表内容がある程度予測できるくらいに、適切かつ端的に、表現されている。	● 演題は、概ね、発表内容を、適切かつ端的に、表現されている。	● 演題は、やや抽象的で、発表内容を予測しづらい表現と思われる。	● 演題は、抽象的で、漠然としており、発表内容を予測しづらい表現となっている。
内容	(3) 目的、方法、結果、考察の一連のストーリーが、客観的かつ論理的に記載されているか。（特に、論理的文章となっているかが、最重要）				
	● 論理的な記載がされており、目的、方法、結果、考察の流れがわかりやすい。	● 論理的な記載はされているが、目的、方法、結果、考察の流れがわかりにくい。	● 概ね、論理的に記載されており、文脈に問題はないと思われる。	● やや論理的ではない記載の部分があり、目的、方法、結果、考察の関連性が分かりづらい。	● 論理的ではない記載となっていると思われる。
	(4) 目的は、何を、どこまで、明らかにしようとしているかが記載されているか。（報告の場合には、何を何の目的で報告し、どのように生かしてほしいのが記載されているか）				
	● 明確に書かれている。	● ある程度、明確に書かれている。	● 概ね、書かれている。	● やや、記載に欠けると思われる。	● 記載がないと思われる。
	(5) 目的を達成するための方法が、適切に計画（立案）されているか。（報告の場合、報告の意図（どのように生かしてほしいか）に沿う形の報告内容にまとめられているか）				
	● 適切に計画（立案）されている。	● ある程度、適切に計画（立案）されている。	● 概ね、適切に計画（立案）されている。	● あまり適切とは言えない	● 適切ではないと思われる。
	(6) 目的に対になるように、客観的、論理的な因果関係に基づく結果、結論が記載されているか。				
● 論理的に適切な結果、結論が記載されている。	● ある程度、論理的に適切な結果、結論が記載されている。	● 目的に呼応した、論理的な結果、結論と言えるか、判断が難しいと思われる。	● 倫理的に適切な結果、結論と言うには、やや問題があるように思われる。	● 倫理的に適切な結果、結論とは言えないと思われる。	
社会的ニーズ・有用性	(7) 研究内容（報告内容）が、社会的ニーズ/必要性、実践の有用性、あるいは学術的貢献度が高いものであるか。				
	● 社会的有用性、あるいは学術的貢献度が高い。	● 社会的有用性、あるいは学術的貢献度が、ある程度高い。	● 社会的有用性、あるいは学術的貢献度は、それ相応と思われる。	● 社会的有用性、あるいは学術的貢献度は、それほど高くないと思われる。	● 社会的有用性、あるいは学術的貢献度は、低いと思われる。

★ 投票の仕方

★ 投稿サイト：

1. 優秀発表の評価基準（ルーブリック）にしたがって、評価をお願いします。

- ① 評価項目は、7項目、それぞれの項目ごとに、評価をお願いします。
- ② 評価の目安(ランク)は、「最高(よくできている)」、「やや優秀」、「まずまず(平均的)」、「やや劣る」、「最低(良くない)」の5段階評価とします。
- ③ まず、最高の出来と思える評価イメージと、たいていの出来と思える評価イメージを各自考えてください。
- ④ ③でイメージした「最高(よくできている)」と「最低(良くない)」の出来具合のイメージのちょうど真ん中が、「まずまず(平均的)」な評価になります。
- ⑤ ④の3段階では、評価できない「最高(よくできている)」と「まずまず(平均的)」の間くらいの発表抄録を「やや優秀」としましょう。
- ⑥ 同様に、④の3段階では、評価できない「まずまず(平均的)」、「最低(良くない)」の間くらいの発表抄録を「やや劣る」としてください。
- ⑦ 一般には、「やや優秀」、「まずまず(平均的)」、「やや劣る」が多くなるものと思いますが、以上の5段階の評価イメージは、評価者である皆さん自身のお考えで結構ですので、抄録をしっかりと読まれて、率直なイメージで、ご判断ください。
- ⑧ この過程を繰り返すことで、研究報告、抄録、ひいては、研究論文を書く上で、自らの書き方を自己評価できるようになると考えられていますので、よろしくお願いいたします。

2. 投票に当たって、どうしても、評価しづらい場合は、評価しなくても構いません。14題の発表がありますので、専門分野外で、評価しづらいと思われる発表については、未記入でも構いません。

3. 評価基準（ルーブリック）は、今後、研究/調査報告をまとめる際や、抄録作成の際、ひいては研究論文/調査報告書をまとめる際に、注意すべきポイントと言える内容です。日頃の業務報告にも生かせるものと思いますので、自らの文章を自己評価する際に意識されると、分かりやすい評価される文章が書けるものと思います。是非、基本的スキルとして生かしていただきたいと願っております。